

2024年12月25日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax 047-303-3025
携帯 090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子
あおぞらメール

No.166

12月議会
代表質問

補正予算の施策を質問

来年度も「学校給食費無償化」継続

12月議会は、11月29日～12月16日まで開催されました。私は、補正予算が組まれた施策、来年度の予算編成などについて、代表質問を行いました。

▽来年度の予算編成

毎月の物価高騰により市民の暮らしは大変です。「市民アンケート」でも、昨年より暮らしが苦しくなったと回答した方が7割を超えています。そういう中で、来年度の予算編成はどうなるのか問いました。市は「学校給食費の無償化や、保育料の無償化は持続していく」と答弁。大型の建設事業についても、財政の見通しを立てて計画的に進めていくと答弁しました。

▽防犯・防災対策

補正予算で、カメラ付き防犯灯を100台、市の予算で設置することが決まりました。しかし、市内には226の自治会があるので、要望のある自治会には、防犯灯を設置するよう要望しました。

▽（仮称）市川新電力会社について

補正予算で、地域電力会社設立をめざし、出資

▽ふるさと納税

今や「1兆円市場」と言われ、「返礼品競争」が過熱して「ネットショッピング化」しているとも言われています。大都市部での流出額が多くなっているのが特徴です。市



川市では、昨年度、300万円の寄付で、25億円の流出額となつていきます。国への制度改正などを要望しているのか問いました。市は、県や全国市長会を通じて、「地方特例交付金や交付税額の算定方法などに関する意見も出している」と答弁しました。

▽デジタル地域通貨「ICHIKOO」

議会にも報告なく、「秋の追加キャンペーン」を行った理由や財源について聞きました。第一弾の執行率が58%で、未執行の分を「秋のキャンペーン」に利用したということでした。総括をしっかりとすること、全国には、国からの交付金が終了した段階で、事業を終了している自治体があるが、本市はどうするのか。「適切な制度設計を行い持続可能な仕組みとなるよう取り組んでいく」ということでしたが、見直しを求めました。

▽塩浜親水事業について

塩浜2丁目の護岸について、モニタリング調査の結果の報告を求めました。全国では、人口干涸の成功例はなく、今後、3億5千万円～7億5千万円という膨大な予算をかける必要はないと、きっぱり訴えました。

▽平和事業について

「核兵器廃絶平和都市宣言」から40周年の市川市で、11月15日、大洲防災公園に、「被爆樹木二世アオギリ」の植樹式が行われました。私は「宣言」を知らない市民への周知を求めました。市内の公園にも、ぜひアオギリを植樹し、宣言を記したプレートを建てるよう、要望しました。



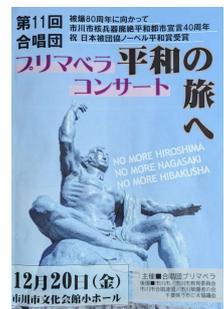
市川市在住で日本被団協事務局次長の児玉さんと記念撮影。

来年度 国政予算要望交渉 各省庁に地域の実態報告



12月23日、日本共産党千葉県委員会は、各地域からの予算要望をまとめて、省庁交渉を行いました。先の総選挙で、比例候補として奮闘したさいとう和子さん、はたの君枝さん、県議、地方議員、学生など30人以上が衆議院議員会館に集結。文部科学省、こども家庭庁、厚生労働省、国土交通省、防衛省と、各1時間程度ですが、担当者から最初に回答を得て、地方からの実態報告や要望点をそれぞれ報告しました。

各省庁担当者は、主任課長補佐という方ばかりで、「来年度に向けて、ご意見は参考にさせていただきます」というもの。各地からは、「学校給食の無償化は国の責任で行うべき」「義務教育の無償化を進めるべき」「スクールカウンセラーは各学校に配置してほしい。いまは3ヶ月待ちになっている」「こども誰でも通園制度は見送るべき」などの意見が相次ぎ、「国立大学の学費は年々高くなってきているので、下げてほしい」と、千葉大学の学生も発言。



12月20日、合唱団プリマベラと、市民合唱団による「平和の旅へコンサート」が開かれました。3部構成で、まず、合唱団プリマベラが、「ふるさと四季」をメドレーで合唱。第2部では、ヴァイオリンの調べ、第3部

「平和の旅へ」コンサート、大いに盛り上がる

**令和6年度
葛南土木事務所管内事業について**
12月20日、市川市内の「道路」「河川」について、葛南土木事務所に聞き取りしました。清水地域に関係のある部分について、お知らせします。

- ・国道14号線 市川橋メンテナンス作業（塗り替え工事をしている）
- ・市川松戸線 国府台5丁目の歩道橋補修（5年に1度の点検をしている）
- ・国分下貝塚線 東国分の国分小学校側は用地買収が終わっているが、国分小の向かい側の物件調査、歩道整備を行う
- ・真間川 空洞ができていた真間小学校周辺の護岸補修工事。国分川との分岐の地点まで、調査をしながら、護岸工事を進めていく

◎1月14日（火）
担当 井出達希弁護士
◎2月18日（火）
担当 米山和希弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控室まで

無料法律相談

は、高校生も参加してくれた市民合唱団と、長崎の被爆者・渡辺千恵子さんの生涯を「平和の旅へ」と題して、滝沢ロコさんの語りと歌で綴り、感動的な内容でした。

《主な活動報告 11、12月》

☆11月17日 菅野小で、地域の防災訓練



菅野・須和田・東菅野3地域の防災訓練が、菅野小校庭で開かれました。6グループに分かれて、訓練を行いました。写真は消火器で水を出しているところです。初めてでしたが、たいへん面白く学ぶことが出来ました。

☆11月22日 12月議会に向けた市政懇談会

11月29日から開催される12月議会の議案、補正予算、代表質問などを報告し、参加者から質問を受け、意見交換を行いました。「三番瀬の干潟再生問題はきちんと議会で取り上げてほしい」「地域の道路改善要望を市に提出したら、改善された」など出されました。

☆11月23日 市川でよい芝居をみる会公演

芝居をみる会と子ども文化ステーションの共催した青年劇場「行きたい場所へどうぞ」を鑑賞しました。近未来の駅で繰り広げるAIロボットと高校生の友情を描いたもの。親子連れも多く、終演後のロビー交流会では、「ポロポロ泣いた」という親子から「悩んでいることが吹っ切れた」という学生まで、幅広い年代の方が集まりました。ロボット役の女優さん、原作者の瀬戸山さんも参加して、交流しました。

☆12月8日 国民救援会市川支部大会

はじめに「法医学者達の告白」を鑑賞。えん罪事件では専門家の鑑定書は決定的に重要です。法医学者の苦悩が描かれています。「再審法改正を市議会に請願したい」などの意見も出されました。この大会で、私は支部長から顧問となりました。